

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能な
インパクトを
生み出そう



The Rotary Club of Iruma

入間ロータリークラブ Weekly Report

国際ロータリー 2570地区
Rotary
International
District 2570

2026-2027 RI 会長:オイカ・キム・ババワ 2570 地区ガバナー:原島 生慈 会長:繁田 光 幹事:新井 格

6号 3453例会 2026年 8月 20日(木)

議事次第 当番:旭 雅則 会員

・お客様紹介 大河内 隆敏 様、石川 伸一 様、
齊藤 定利 様、吉田 昌弘 様、浦 司樹 様
ゴ・チ・ヒエン 君

・会長の時間

・幹事報告、委員長報告

・卓話 ガバナー補佐 大河内 隆敏 様

<ビジター・ゲスト>

2570 地区第3 グループ ガバナー補佐
大河内 隆敏 様

入間南 RC パスト会長
石川 伸一 様

入間南 RC パスト会長
齊藤 定利 様

株式会社 吉田建装
吉田 昌弘 様

株式会社 ハウスリンク
浦 司樹 様

ロータリーファミリー
ゴ・チ・ヒエン 君

石川様



齊藤様



吉田様



浦 様



<回覧・配布物>

配布物

- ・福布巾(源光山不動院)
- ・藤沢落笑会 会員申込書
- ・会報(8/6 例会)

回覧

- ・8/27 R 美術館出品表
- ・8/27 ガバナー訪問実施要領
- ・9/5 社会奉仕セミナー案内
- ・10/5 地区チャリティゴルフ案内
- ・10/15 旧軽井沢ゴルフクラブ案内
- ・11/1 2570 地区ポリスター案内
- ・12/1 ローター研究会案内
- ・フードバンクいるま 8月号
- ・バギオだより 7月号
- ・入間南 RC 会報(8/2、8/4 例会)
- ・例会出欠表(9/3・10・17)
- ・プログラム表(8~10月)

<お祝い・表彰>

なし

<出席>

31名(39名中) 86%

<ニコニコ BOX>

ニコニコ:6,000円

お祝い:0円 累計133,000円

・お世話になります。
(入間南 RC 石川様)

・本日はよろしくお祈いします。
(入間南 RC 齊藤様)

・卓話よろしくお祈いします。
(繁田、新井、菅野、間野)

<幹事報告>

・8月27日 ガバナー公式訪問
10時30分集合
クラブジャケット、クラブタイ着用

・前期会費(13万5千円)
納入がまだの方はお願いいたします
今年度から金額が変わりましたので、
確認をお願いします。

今月のロータリーレート:1ドル=162円

🌸 本日のお客様 🌸

ロータリーファミリー
ゴ・チ・ヒエン 君

みなさまこんばんは。
駿河台大学経済経営学部3年生のゴ・チ・ヒエンと申します。ベトナムの出身で「ヒン」と



呼んでください。

まず、奨学金をいただきありがとうございます。これまでは、春休みや夏休みなどの長期休暇になると、ほとんどの時間をアルバイトに使い、空いた時間は日本語の勉強や資格の勉強に使っていましたが、今年は奨学金をいただいたことで生活に少し余裕ができました。

そのため、アルバイトを少し減らして勉強する時間を増やすことができました。今まではあまりできなかったことも体験することができました。その1つは旅行です。今月の初めに友達と一緒に江ノ島に行きました。

先週も山梨県の山中湖に行きました。日本に来て4年以上になりますが、山中湖に行くのは今回初めてでした。

富士山を見に行くことを楽しみにしていましたが、残念ながら先週は台風の影響もあり、天気あまりよくありませんでした。せっかく富士山を見に行ったのですが、富士山はどこにあるの？ というぐらい、全く見えませんでした。

それでも、友達と一緒に旅行することができて、本当に楽しい思い出になりました。

🌸会長の時間🌸

繁田 光 会長



今日は、大河内ガバナー補佐によるガバナー補佐訪問例会です。お越しいただきましてありがとうございます。

また、入間南 RC の石川会員、齊藤会員もありがとうございます。

入間 RC の活動に興味を持っていたいた、吉田さん、浦さん、ようこそ入間 RC へ。

ガバナー補佐訪問例会というのは、来週に控えている、一年で一番大事な例会とも言える、ガバナー訪問の例会の前に行われているんですけれども、このガバナー補佐というのは、昔は「分区代理」と言われていました。今でも代理という言葉は、地区大会では RI 会長代理といって、補佐ではなく RI 会長の全権を委任された方が地区大会に来て、それを執り行うガバナーの一番の来賓として最後に講評をしているイメージがあります。おそらくそのイメージで昔は分区代理という名前で、この第3グループはおそらく第3分区と呼ばれていたと思います。

この入間 RC からは今までに11人がガバナー補佐になっています。

1967年には、私の祖父ですが、**繁田正一**会員が分区代理に、後に1973年にはガバナーを務めております。続いて、1971年には**杉山定太郎**会員が分区代理になりまして、この杉山会員は私が入会した2007年でもまだご存命で、100歳を超えて

もロータリアンでいらっしゃった方で、とてもすごいことだと思っておりました。

続いて、1975年には元の入間市長の**水村仁平**会員、1980年には**井ヶ田三男**会員、1985年には**齋藤金作**会員、1991年には**齊藤福太郎**会員、1997年には**宮岡仁平**会員が分区代理を務めてまいりました。

2005年には、**石川嘉彦**会員がガバナー補佐を務め、後の2007年には入間 RC では2人目のガバナーを務められました。

2012年には**平岡達也**会員がガバナー補佐を務められ、その時は私はもう入会していたので、IM のホストクラブということではいろんなことをやっただけですけども、水村さんが実行委員長だった時に、いろんなことがあって大変だった IM だと記憶しております。

ここまでの9名の方はすでに亡くなられておりますが、2018年には**細淵克則**会員、2023年には**齋藤栄作**会員が務められ、今まで11名の会員がガバナー補佐を務めております。

全部のクラブを調べたわけではないのですが、2570地区のクラブの中でも、6年に1人がガバナー補佐をやるというのはたぶん一番多い。6年に1回 IM を主催しているということなので、このことだけをとってもこの入間 RC は、長い歴史の中で人材を輩出しているという観点からしても、地区に多大な貢献をしているクラブであると思います。

その他に、地区役員、統括委員長という重責を担うような方も多数輩出しておりますので、今後もガバナー補佐やガバナーが期待される人材が豊富なことも入間 RC の特徴でありますので、この歴史と伝統を守り進化させていけるように、今後のロータリー活動に会員の皆様が邁進していただければと思います。

🌸委員長報告🌸

ラーニング：木下委員長



9月19日(土)にロータリーリーダーシップ研究会(RLI)の第1回(全3回)が、本庄の「本庄早稲田国際リサーチパーク」で行われます。

昨年は、入間 RC で5、6名の参加者がいました。3つのパートを受けて、その後ファシリテーターの研修があり、修了バッジがもらえますので、ぜひ参加をしていただきたいと思います。

来年の例会を1ついただいております、ラーニング委員会で例会を企画しています。

そして、9月初めに「入間 RC 満足度アンケート」を全員にお配りします。そんなに難しくないので、チェックを入れるだけです。全員に返信をもらいたいです。

入間 RC がどんなクラブかというのを実感していただけるようにデータを取りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

入会に至るまでの状況を簡単にお聞かせください、というところがありますので、書ける方はぜひ書いていただきたいと思います。

R 美術館：細淵委員長

R 美術館からのお願いですが、来週ガバナー訪問があります。R 美術館は入間 RC だけの特別な委員会なので、ぜひ皆さんの多くの出品をお願いいたします。

私も過去に 1 回出したんですが、なかなか美術品はないんですけれども、今回はなんとか 1 個見つけたので、出したいと思います。皆様のご協力をお願いします。



✿ 卓話 ✿

2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐 大河内 隆敏 様



自己紹介

藤沢にある、不動院というお寺の住職をやっています。

実は 2 年前の正月に急性心筋梗塞で死にかけました。緊急で手術してなんとか命が繋がったのですが、もう少し遅ければ、ガバナー補佐を受けることもなかったんですけども。

本当に人は何があるか分かりません。病気なら仕方ない面もあるんでしょうが、このところも熊本の地震や千葉の豪雨で犠牲になられた方もいらっしゃるしまして、そんなことで命を落とすのはさぞ悔しいだろうという思いもあります。

阪神淡路大震災でのボランティア活動

災害で私が一番最初に衝撃を受けたのは、阪神淡路大震災です。

今から 31 年前、真言宗豊山派の青年会事務局長という立場でした。大正大学の学生さんや 20 代の青年僧を連れて神戸に行き、ボランティア活動をしました。

全真言宗青年連盟が高野山真言宗の神戸のお寺を拠点に災害救援本部を立ち上げて、その紹介で神戸市内のお寺さんの境内や、公園、学校のグラウンドなどでボランティア活動をしました。

子供向けに人形劇や紙芝居をやったり、炊き出しをしました。本山（長谷寺）のある奈良県桜井市で当時安かったハラミを大量に買い、神戸市の長田区にあって全焼からいち早くオープンした菅原市場で、肉以外の食材を全部買って、炊き出しをしました。

声明(しょうみょう)コンサート、三波春夫ショー

もう 1 つ青年会のスキルがありまして、声明という節つきのお経があります。この声明のコンサートを展開しておりました。日本武道館のアリーナに 1 千人のお坊さんが集まって、その時の様子をビデオ制作して、我々の許可もなくヨーロッパのコンサートに出したら、音楽部門で金賞を取りました。

そういうことがあったので、各地でチャリティコンサートを開いて募金集めをし、我々も参加費を払って、1,000 万円集まって神戸に直接届けに行きました。

その中の 1 つに、神戸の仮設住宅の支援をしている NGO がありまして、仮設住宅にいるお年寄りのために声明のコンサートをやってくださいということになりました。

他に、抱き合わせで有名な人を呼べないかということで、白羽の矢を立てたのが、三波春夫でございます。

なぜ呼べたかと言いますと、実は、私の先輩のお母さんがファンクラブ第 1 号か 2 号かというすごいコアなファンで、紹介していただきました。

事務所にお伺いして、神戸でコンサートを開いてくれませんかとお願ひしたら、即答でした。「待ってました、よく来てくれました。喜んでやらさせていただきます」と。あまりにも大御所過ぎてどこからも声がかからなかったらしいです。三波春夫本人は、ぜひ神戸に行って、できることがあればなんでもやりたいという気持ちはあったのだけれども、勝手に動くといろんな人に迷惑がかかるので、オファーを待っていたということでした。

当時青年会には周年事業のために 400 万円の積立金があったのですが、全て取り崩して 400 万円で受けていただきました。

経費節約、手弁当での参加者

1996 年 3 月 31 日に神戸国際会館ハーバーランドプラザホールで、キャパ 1900 人という立派なホールで開催することになりました。

三波春夫ショー以外の経費はできるだけ詰めて、一般会計の事業費と、被災地で声明コンサートをやる 7, 80 人くらいのお坊さんの交通費等が宗派から支給されていたのですが、それも寄付してもらって、全員手弁当です。

コンサートをやるにはプロのスタッフが必要ですが、声明のコンサートで知り合いだった松下さんという、ウドー音楽事務所の子会社で、セディックという会社の社長さんだった方をお願いして、いつもお世話になっているので手弁当でやりますと、もう 1 人必要だということで自分の友人を連れてきて手弁当でやらせました。当日のスタッフも全部自分の友人関係を連れてくるということになりました。

とにかく経費を節約して、プロのスタッフに聞いたら、三波春夫ショーは最低 800 万円はかかるところをよく半額で受けてくれたねと言われま

した。ただ、見積もりを見てもらったら、これには経費が入っていないので、専属のオーケストラやスタッフの交通費宿泊費が別途で 200 万円くらいかかるよと言われました。もう宗派にもお願いできないくらい出してもらっていたので、その時の青年会長と私とで 100 万円ずつ腹をくくろうということで、決行しました。

半分以上の空席、三波春夫の言葉

その他にも、神戸のお寺さんに備品を集めていただいたり、仮設住宅の NGO さんにもスタッフで手伝っていただいて、仮設住宅のお年寄りにも 2,000 枚のチケットを配ったんですが、第 1 部の声明公演が始まる頃にお客さんが 500 人くらいだったんです。3 分の 2 以上空席という状況でした。事情を聞いたら、足がなくて来れないということでした。

それを見たプロのスタッフさんが、これはまずいよと。こんなに空席があったら、三波春夫のメンツにかかわるということで、会場周辺で呼び込みをしたり、地元の人に頼んで親せきや友人を集めてもらったりしてようやく 700 人くらい入ったのですが、半分以上空席でした。

それで、終わったらすぐに謝った方がいいということで、終わると同時に追いかけていき、楽屋に飛び込むように入って、入るなり土下座して申し訳ありませんでしたと謝りました。そうしたら、三波春夫さんが、「大河内さん頭を上げてください。私には 6,000 人の御霊で超満員に見えましたよ」と、こんないい機会を与えてくれて本当にありがとうございますと言ってくれました。その言葉を聞いた途端、涙がぼろーっと出ました。興行的には失敗だったんですけれども、その言葉に救われました。

その他にも、お客さんをお見送りに出ているスタッフがいたのですが、みんなが握手を求めてきて、ありがとう、とっても感動した、よかったと、すごく喜んでもらえたと。その報告を聞いて、やってよかったなと感じました。

支援活動の意義、ロータリーのイメージ向上

来週はクラブ協議会で、誇りを持てた活動の話をしていただくことになっています。これは、ロータリー活動ではないですけれども、私の半生の中で本当に誇りを持てる活動の 1 つだったなと感じております。たとえば思い通りにいかなかったとしても、やれば必ず喜んでくれる人がいます。

特に災害の支援活動というと、売名行為とか、不謹慎だとか、そういった声を出す人もいます。

しませんが、それで助かる人がいるなら絶対やるべきだと思います。

今回の熊本の地震でも、例えばメジャーリーグの村上選手がふるさと熊本に 1,000 万円寄付しますと、すぐに報道で出る。熊本のロータリーから要請があつて、皆さん 1 人いくらかお金を集めて送ったと思いますが、ロータリーがこういう支援活動をしましたという報道を聞いたことがありますか？ 聞こえてこないですね。

そこで思ったのですが、不謹慎だなんだと言われるのが、やればやるだけ喜んでくれる人もいるし、助かる人もいるんだから、日本のロータリーには 8 万人以上の会員がいるんですから、とりあえず 1 人 1,000 円ずつ出せば、8,000 万円集まるんです。すぐに 8,000 万円送れば、地元のロータリーがこういう支援をしていますと、少しは報道されて公共イメージの向上にもつながるのではないかと。

できれば、日本のロータリーの事務局に 2 億円ぐらいプールしておいて、災害が起きたらすぐに 1 億円くらいを被災地に即座に送って、後日、1 人 1,000 円でも回収してまたプールしておけば、すぐに使えるんじゃないかと思っています。

地域からの信頼を得る

ただ、もし入間で災害が起こって、ここに 8,000 万円届けられたとします。それで地域で何かしらの支援活動しようというときに、やっぱり地域で信頼を得ていないとできないですね？ まずは、その地域から信頼を得るために、入間 RC と入間南 RC は手を取り合って入間市のために普段から貢献すること、これがまず必要ではないかと思っています。

2 月 24 日合同例会 ゲスト：有森 裕子

2 月 24 日に合同例会をやりませんが、有森裕子さんをお呼びします。有森さんの話を聞いて、誇りを持てるロータリー活動の指針にしたいと思っておりますが、実行委員長の石川さんと副実行委員長の齊藤さんが中心になって、一般公開にしたいと思っています。ロータリアンだけではなくて、いろんな人を呼んでいただいて、会員増強につながれば最高だなと思っております。



発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：irumarc@outlook.jp

■例会場：繁田醤油(株) 西山荘

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：長谷川尚義

